



▶北海道ニセコ町

ふるさと納税で離れていても まちづくりに参加

まちづくりへの共感やふるさとへの想いを持つ人々が離れていても地域づくりに参加できるよう、「ニセコ町ふるさとづくり寄付条例」を制定し、ふるさと納税を活用して、木製玩具の整備や有島武郎の自筆書簡の収集などの具体的な事業を実施しています。

また、住民自治のまちづくりを推進する観点から、「ニセコ町まちづくり基本条例」に基づき、公募町民等で組織されている「ニセコ町まちづくり委員会」において意見を聴いた上で、ふるさと納税の活用事業を決定して

寄附者に対しては、定期的にお便りを送付し、町の最新情報やふるさと納税の活用状況等を知らせることで、よりニセコ町を身近に感じていただけるよう努めています。



まちづくり委員会



移住相談会

注力した点や工夫した点

町のウェブサイトでふるさと納税を募集するほか、首都圏で開催している移住相談会や産直フェアでも積極的にふるさと納税をPRしています。

Check

取組の効果

寄せられたふるさと納税の資金を活用し、ニセコ町の幼稚園と保育所の複合型施設である幼児センターに通う子ども達が木に触れて遊べるようになり、木製のブロックやオルゴールなどの玩具を整備しました。このような取組をはじめとした町の子育て支援施策の効果もあり、幼児センターに通う子ども達が増加しています。

寄附者には、ふるさと納税をきっかけに町に興味をもってもらい、町が力を入れている移住促進の取組につなげていきます。



カプラブロックで遊ぶ子ども達



幼児センターで元気に遊ぶ子ども達

寄附者の声



・ニセコファンの一人として、町に役立ててもらいたいです。

住民の声



・ふるさと納税のおかげで一層子どもたちが健やかに育つ環境を整えることができました。ありがとうございました。(幼児センターの先生)